小児科（新生児）
Pediatrics（Neonatology）

外来受付
3階18番　06-6645-2326
午前8時45分～午後4時45分［平日］
［初診：月～金 / 午後9時～午前10時30分］

詳細はこちら

診療科部長、教授
濱﨑（はまざき）　考史（たかし）



専門
先天代謝異常症

スタッフ

副
准教授　時政（ときまさ）　定雄（さだお）
【専門】血液、悪性腫瘍

准教授　瀬戸（せと）　俊之（としゆき）
【専門】小児神経代謝疾患、遺伝疾患

准教授　大西（おおにし）　聡（さとし）
【専門】新生児

講師　佐久間（さくま）　悟（さとる）
【専門】小児神経疾患、てんかん

講師　服部（はっとり）　妙香（たえか）
【専門】小児神経疾患

講師　冬木（ふゆき）　真規子（まきこ）
【専門】新生児、在宅医療

講師　田中（たなか）　えみ
【専門】新生児

講師　柚山（ゆやま）　賀彦（よしひこ）
【専門】小児糖尿病

病院講師　匹田（ひきた）　典克（のりかつ）
【専門】小児神経、感染症

診療科の特徴

新生児から思春期までこどもの健康をまもるために診療しております。新生児部門は在胎24週の早産児や400gに満たない超低出生体重児を治療できる新生児集中治療室（NICU）を9床を設置し、産科と合同でカンファレンスを開き、地域周産期医療センターとして府下全域から母子を受け入れております。小児内科では、フェニルケトン尿症をはじめとするアミノ酸代謝異常症、ムコ多糖症・ファブリー病などのライソゾーム病、有機酸代謝異常症・脂肪酸代謝異常症などの先天代謝異常症を全般的に診療しており、また急性髄膜炎などの小児神経疾患、1型糖尿病やその他内分泌疾患にも幅広く対応しております。さらに白血病や悪性腫瘍、難治（薬剤抵抗性）てんかんなど長期入院の患者さんのために療養環境の改善にもつとめています。医療的ケア児の付き添いなしでの入院も受け入れ可能です。小児センターとして小児内科だけでなく小児外科や耳鼻科、眼科、脳外科、整形外科などとも連携して小児の外科疾患にも幅広く対応しております。

対象疾患

［主力疾患］
・フェニルケトン尿症　・ムコ多糖症　・ゴーシェ病　・ポンペ病
・ファブリー病・てんかん　・新生児疾患　・新生児外科疾患
・小児肥満症　・糖尿病全般　・急性リンパ性白血病
・急性骨髄性白血病　・悪性リンパ腫　・神経芽腫
・特発性血小板減少症　・再生不良性貧血　・内分泌疾患
・脊髄性筋萎縮症

［対応できる疾患］
・末梢神経障害　・筋疾患　・発達障害　・注意欠陥多動性障害
・神経免疫疾患　・脳変性疾患　・Wilms腫瘍　・肝芽腫
・横紋筋肉腫　・ユーイング肉腫　・好中球減少症　・脳腫瘍
・ガングリオシドーシス　・ロイコジストロフィー
・その他の先天代謝異常症　・循環器疾患　・ニーマンピック病
・神経伝達物質病　・急性髄膜炎　・けいれん群発・重積
・若年性特発性関節炎　・その他の膠原病　・先天性免疫不全症

主な診療実績

代謝・内分泌疾患	160名
糖尿病疾患	130名
血液腫瘍疾患・免疫異常	40名
アレルギー疾患	150名
循環器疾患	50名
神経疾患	450名
先天異常・臨床遺伝	10名
感染症	500名
新生児	280名

ご紹介時のお願い

初診予約は診療情報提供書（診察予約申込書）に必要事項をご記入の上、地域医療連絡室へFAXにてお申込みください。